

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	文化会館維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 水野隆文
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備	所属班	生涯学習班	(内線) 1503
				法令根拠		

予算科目	会計 1	款 10	項 5	目 6	事業連番 10839	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 12	コスト削減優先度評価結果 6*24
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成7 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
合志市総合センターの保守点検等維持管理事業(舞台の照明・音響・吊物の保守点検業務委託)

【業務の流れ】
総合センター施設の照明機器・音響機器・舞台吊物機構の維持管理と全般の消耗品の補給や各所の修繕を行い、利用者・使用者が安全に利用できる環境を整える。

【主な予算費目】
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 舞台照明・音響・吊物の保守点検業務を委託した。 消耗品の補充を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度同様に舞台設備の保守点検の委託、維持管理を行う予定。	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 維持費 円 ⇒ イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 文化会館利用者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 施設利用人数 人 ⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正な保守点検を行い、機能の維持を図ることにより、施設利用者が施設を快適に利用できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 発生した故障等の件数 件 ⇒ イ	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 活動する場がある。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習・スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合 % ⇒ イ	

(2) 総事業費・指標等の推移										
	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	3,087	17,021	818	3,078	2,912		818
	(A) 事業費計	千円	3,087	17,021	818	3,078	2,912	818		818
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4		4
	延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	(B)人件費計	千円	3,970	3,980	3,980	3,980	3,980	3,980	3,980	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,057	21,001	4,798	7,058	6,892	4,798	4,798	
活動指標	ア イ 円	3572360	15793552	818000	510144	818000	818000	818000	目 標 計 画 22 年 度	
対象指標	ア イ 人	41668	42149	43000	43000	43000	43000	43000		
成果指標	ア イ 件	2	0	0	0	0	0	0		
上位成果指標	ア イ %	74	74	74	74	74	75			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
開設以来(平成7年)文化会館は文化的活動の拠点であり、施設の維持管理のため保守点検を行っている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
施設が会館13年を経過し、各所に経年劣化が見られる。平成19年度は文化会館舞台吊物機構の改修工事を実施した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
音響機器について、機器経年劣化のためノイズが乗り、苦情を聞くこともある。

事務事業名	文化会館維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 適正な保守点検を行い、機器の維持を図ることにより、施設利用者が安心して、快適に利用できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共施設を適正に維持管理することにより、市民が安心して施設を利用できる。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 施設利用者を対象とし、快適に施設を利用していただくことを目的としており妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正な保守点検により機能の延命が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 故障・事故を未然に防止することができず、快適な利用ができなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似した施設はあるものの、点検内容が異なることから難しい。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 契約条件(長期契約、保守点検回数)の見直しにより委託料の軽減が図れる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な業務で行っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 来館者すべてが受益者となり公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、快適な施設利用を目的とし、妥当である。 ②有効性については、廃止した場合の影響は大きく、有効である。 ③効率性については、契約内容の見直しで費用削減が図れる。 ④公平性については、来館者全てが受益者となり、公平である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下	○		
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下	○																

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

契約条件(長期契約等)の改善

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2)貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)